



storage delete

コマンドの使用に関するガイドラインを次に示します

Snapdrive for Unix

NetApp
June 20, 2025

目次

storage delete コマンドの使用に関するガイドラインを次に示します	1
ホストクラスタ環境でのストレージ削除に関するガイドライン	1

storage delete コマンドの使用に関するガイドラインを次に示します

SnapDrive storage delete コマンドには 'UNIX 用の SnapDrive にいくつかの制限があります

- ・ファイルシステムを削除すると、 SnapDrive for UNIX によってファイルシステムのマウントポイントが常に削除されます。
- ・'-lun' オプションを使用 SnapDrive して ' ホスト・ディスク・グループまたはファイル・システムのいずれかのメンバーである LUN の名前を指定すると 'lun storage delete コマンドは失敗します
- ・'-lun' オプションを使用 SnapDrive して ' ホスト上のマルチパス・ソフトウェアによって検出されない LUN の名前を指定すると 'lun storage delete コマンドは失敗します

たとえば Solaris ホストの場合、 LUN は DMP 制御下にある必要があります。つまり 'LUN には対応する /dev/vx/dmp' デバイスが必要です

ホストクラスタ環境でのストレージ削除に関するガイドライン

ホスト・クラスタ環境で SnapDrive storage delete コマンドを使用する場合は、いくつかのガイドラインに注意する必要があります。

- ・ホストクラスタ内の任意の非マスター・ノードから '-deviceType 共有オプションを指定して SnapDrive storage delete コマンドを開始すると ' コマンドがマスター・ノードに送信され ' 実行されますこれを実現するには 'rsh または ssh 'access-without -password prompt' がすべてのホスト・クラスタ・ノードで許可されていることを確認する必要があります
- ・SnapDrive storage delete コマンドは ' ホスト・クラスタ内の任意のノードから実行できます
- ・ストレージ削除処理を成功させるために、どちらも false に設定しないでください。
 - ストレージエンティティを共有する必要があります。
 - LUN はホストクラスタ内のすべてのノードにマッピングする必要があります。
- ・デフォルト値は dedicated であるため ' 特定のノード上のストレージ・エンティティを削除するには '-deviceType dedicated オプションを使用するか ' コマンド・ライン構文内の -deviceType オプションを省略します
- ・共有ストレージ・エンティティまたは SnapDrive が -deviceType dedicated オプションで削除された場合 ' または共有オプションを使用して専用ストレージ・エンティティまたは LUN が削除された場合は 'lun storage delete コマンドを実行すると ' エラー・メッセージが表示されます
- ・次のいずれかの状況になると、ストレージ削除処理は失敗します。
 - ストレージエンティティの削除処理中にエラーが発生した場合。

SnapDrive for UNIX を使用すると、ストレージエンティティが削除され、すべての非マスターノードから LUN が切断され、ホストクラスタ内のマスターノードから LUN が切断されて削除されます。

- SnapDrive storage delete コマンドが実行される前に ' ホスト・クラスタ内のノードがシャットダウンされ ' 再起動する場合

これは、LUN がまだ存在しないノードにマッピングされているためです。これを回避するには '-force' オプションを使用します

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。